

主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

大倉山講演会

波濤を越えた近代日本人たち

令和8年5月16日(土)

要事前申込
(詳細裏面)

大倉和親：需要家の満足こそが抱むべき 『実体』、利益はその『影』なり —近代日本の生活文化を創造した企業家—

明治から昭和にかけて、日本の近代陶磁器産業の礎を築いた実業家、おおくらかずちか大倉和親。海外渡航して学んだ近代的経営と洋食器製造法を軸に、衛生陶器・がいし碇子など、暮らしを支える分野へと事業を広げ、日本のものづくりを世界水準へと押し上げました。

本講演では、その華やかな業績だけでなく、困難な時代にあっても揺らぐことのなかった信念や、社会への責任を重んじた精神に光を当てます。激動の近代を生きた一人の実業家の歩みをたどりながら、今日の私たちの生き方にも通じる「志」とは何かを問い直します。

◇時間：午後2時～3時30分（開場は午後1時45分）

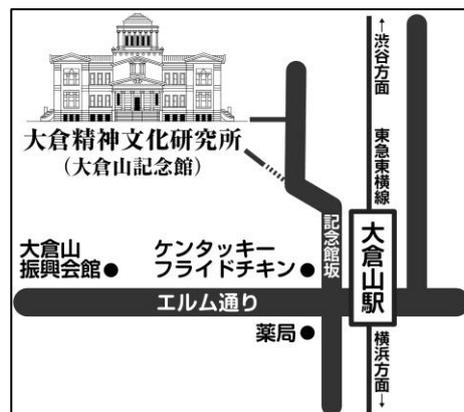
◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内
(東急東横線大倉山駅下車徒歩7分)

◇講師：くろさわ まなぶ黒澤 学 (株)大倉陶園 総務部)

◇定員：80名 (入場無料、要申込・先着順)

◇申込方法：詳細は裏面をご覧ください



次回予告 6月20日(土) 大倉山講演会 衛生立国を目指す—北里柴三郎博士の伝染病対策—
講師：森 孝之 (一般社団法人北里柴三郎記念会)